

鞍手町町制施行 70周年記念式典

Kurate Town 70th Anniversary Commemoration Ceremony

70

- 日時 令和7年10月5日(日)
午前10時から
- 会場 鞍手町役場 多目的ホール



< 式次第 >

1. 開 式
2. 国歌斉唱
3. 鞍手町長式辞
4. 鞍手町議会議長あいさつ
5. 来賓紹介
6. 来賓祝辞
7. 祝電披露
8. 鞍手町表彰及び町制施行記念表彰
9. 閉 式



司会

石田 旭昇

FBS 福岡放送アナウンサー

Profile

いしだ あきのり・福岡県鞍手町出身。東筑高校時代に投手として甲子園に2度出場。法政大学を卒業後、福岡放送（FBS）に入社。「バリはやッ!」「めんたいワイド」をはじめとする情報番組のほか、スポーツ中継や配信番組など幅広い分野で活躍している。明るく爽やかな語り口に定評があり、地域に寄り添った放送を大切にしながら、福岡の魅力を伝え続けている。趣味はサウナと野球観戦。

町長 挨拶

町制施行 70 周年を
迎えた鞍手町
人口減少社会を乗り越え
魅力ある住みたいまちづくりへ
挑戦を続けます

鞍手町長 岡崎 邦博



本日ここに、町制施行 70 周年の佳節を迎え、記念式典を挙行できますことは町民の皆さまをはじめ、多方面より本町をお支えいただきました多くの皆さまのご尽力の賜物であり、町を代表して心より厚くお礼申し上げます。

また、長きにわたり町政発展に寄与されたご功績により、本日、表彰を受けられました皆様方に対し、心より敬意を表するとともに感謝を申し上げます。

昭和 30 年に鞍手町が誕生して以来、幾多の時代の変化の中にあっても町民一人ひとりが心を寄せ合い、互いに助け合いながら地域社会を築いてまいりました。

かつて本町を支えた石炭産業の隆盛と衰退、その後の新たな産業基盤の整備や教育・福祉の充実といった歩みは、町の歴史そのものであり、先人の知恵と努力、町を愛する熱い思い、そして未来への強い志の積み重ねであったと存じます。

今日、わが国は世界に例を見ないペースで少子高齢化が進んでいます。本町も例外なく人口減少や少子高齢化といった大きな課題に直面していますが、本町には 70 年の歴史に裏打ちされた「共に支えあう力」と「挑戦を恐れない心」が息づいております。町制施行 100 周年、さらにはその先の未来を見据え、子や孫たちが夢と誇りを持ち、誰もがこの町で安心して暮らしていける持続可能なまちづくりを力強く進めてまいります。

この節目の年を迎えるにあたり、改めて本町の発展にご尽力くださった先人に深甚なる敬意と感謝を表するとともに町民の皆さま、関係各位と手を携え、「ひとが輝き未来へとつながるまちづくり」の実現を目指し、鞍手町の新たな歴史を築いていく所存です。

結びに、皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、町制施行 70 周年にあたってのごあいさつといたします。

議長 挨拶

新庁舎を拠点に
議会と行政、町民のみなさん
が力を合わせて
安心して夢あふれる
地域づくりを進めます

鞍手町議会議長 的野 信之



鞍手町町制施行 70 周年記念式典が挙行されるにあたり、町議会を代表しまして、一言ごあいさつ申し上げます。

本日は栄えある表彰を受けられた皆さま方、おめでとうございます。永年にわたり町政発展のためにご尽力をいただきましたことに対し、深く敬意と感謝を申し上げます。

振り返りますと、高度経済成長期の始まりにあった昭和 30 年 1 月 1 日、剣町・西川村・古月村の 1 町 2 村が合併し、鞍手町へ生まれ変わりました。

以来、社会情勢の変化にともない人口減少、少子高齢化、過疎化など厳しい状況はありますが、先人のたゆまぬ努力と町民の皆様の温かなご協力により、幾多の困難を乗り越え、今日を迎えることができました。その歩みを礎として迎える 70 周年はこれまでの歴史をしっかりと受け止め、次の時代へと力強く踏み出す大きな節目であります。

また、このたび完成いたしました新庁舎は、町民の皆様により身近で親しまれる町政の拠点として安心・安全に配慮した防災機能を備える将来を見据えた町づくりの象徴でもあります。私ども議会といたしましても、この新たな拠点を生かしながら、持続可能な町づくりを進めることが使命であります。町民の声を真摯に受け止め、安心して暮らせる環境づくり、次代を担う子どもたちが夢を持って成長できる地域づくりの推進に努めてまいります。

結びに、本日ご出席いただきました皆さま方はもとより、町制施行 70 周年を町民の皆さまとともにお祝いし、町のさらなる発展と皆さまのご健勝を祈念申し上げます。私のあいさつとさせていただきます。

駆け抜けた70年

70 years of Kurate Town history



2025年1月1日に町制施行70周年を迎えた鞍手町。
誕生、盛衰、そして再生。激動の70年間の町の歩みを振り返りました。

1955 …▶ 1969

- 1955年（昭和30年）
 - 1月1日、剣町・西川村・古月村の1町2村が合併。公募により新しい町名が「鞍手町」に決定
- 1956年（昭和31年）
 - 役場庁舎が完成
- 1958年（昭和33年）
 - 鞍手郵便局が開局
- 1962年（昭和37年）
 - 町内誘致企業第1号として、九州モールド株式会社が操業を開始
- 1963年（昭和38年）
 - 三菱新入炭鉱（六坑）が閉山。鞍手町から大きなヤマの灯が消える
- 1965（昭和40年）
 - 三菱新入炭鉱病院の建物を引き継ぎ、鞍手町立病院を開設。5診療科、57床
- 1968年（昭和43年）
 - 町内初の交通信号機が、鞍手郵便局交差点に設置される

1970 …▶ 1984

- 1970年（昭和45年）
 - 町内3つの中学校が、鞍手北中学校と鞍手南中学校の2校に統廃合
- 1971年（昭和46年）
 - 7月の集中豪雨で町内650戸の家屋が浸水。災害救助法が適用
- 1974年（昭和49年）
 - 鞍手郡4町のごみを処理するじん芥焼却場が完成。処理能力1日60トン
- 1975年（昭和50年）
 - 鞍手郡4町の広域消防本部が発足
- 山陽新幹線が博多まで開通
- 1977年（昭和52年）
 - 上新橋地区の鉱害復旧工事が始まる
- 1979年（昭和54年）
 - 九州自動車道の若宮～八幡間が開通
- 1981年（昭和56年）
 - 中央公民館が完成

1985 …▶ 1994

- 1985年（昭和60年）
 - 国鉄室木線が廃止。3月31日「さよなら記念列車」が走る
 - 歴史民俗資料館（現・博物館）が完成
- 1987年（昭和62年）
 - 国鉄が分割民営化し、JR鞍手駅が営業を開始
- 1991年（平成3年）
 - 町営葬斎場が完成
 - 台風17号と19号が襲来。町内全域に大きな被害をもたらす
- 1992年（平成4年）
 - 町で初のゴルフ場「鞍手カントリー倶楽部（現・ムーンレイクゴルフクラブ鞍手コース）」がオープン
- 1993年（平成5年）
 - 町内で交通死亡事故が多発。交通安全住民大会を開催
 - 古月貝塚で縄文時代の人骨5体を発見

「黒ダイヤ」と呼ばれた石炭の採掘が 人々の暮らしを支え、町の繁栄を築きました

鞍手町は、かつて栄えた九州北部の石炭産業の中心地の一つであり、採掘の歴史は江戸時代までさかのぼります。明治から昭和にかけて筑豊炭田の一角として発展し、最盛期には多くの炭鉱が操業。「黒ダイヤ」と称される高品質な石炭を産出し、町の経済を支えました。
炭鉱には多くの労働者が集まり、町は活気に満ちていました。しかし、エネルギー革命の影響で、昭和30年代後半には、ほとんどの炭鉱が閉山。町の人口も大きく減少しました。
町の礎を築いた炭鉱の歴史や文化は、現在、鞍手町歴史民俗博物館で保存・展示されています。

▼鞍手町歴史民俗博物館別館内に展示されている巨大な石炭。1辺約50センチの石炭は貴重な存在。三菱鉱業セメント株式会社筑豊事務所から寄贈された。



1995 …▶ 2004

- 1995年（平成7年）
 - 西川で6キロの回帰サケを捕獲
- 1997年（平成9年）
 - 下水道の整備が始まる
- 1998年（平成10年）
 - 鞍手町婦人会が解散
- 2000年（平成12年）
 - 国勢調査で人口が2万人を割る
- 2001年（平成13年）
 - 介護老人保健施設「鞍寿の里」が完成
 - JR筑豊本線・篠栗線（福北ゆたか線）の電化がスタート
- 2002年（平成14年）
 - くらくクリーンセンターが完成
- 2003年（平成15年）
 - 下水道が一部地域で利用開始
- 2004年（平成16年）
 - 直鞍合併協議会が解散（6月）。新たに、直方市、小竹町と直鞍1市2町合併協議会を設置（12月解散）

2005 …▶ 2014

- 2005年（平成17年）
 - 合併をしない単独での町運営を選択
 - 町制施行50周年を迎える
- 2006年（平成18年）
 - 大谷自然公園がオープン
- 2009年（平成21年）
 - 剣第二保育所と西川第二保育所を民営化。鞍手あゆみ保育園と鞍手のぞみ保育園に改称
- 2011年（平成23年）
 - 鞍手インターチェンジが完成
 - 東日本大震災が発生
- 2013年（平成25年）
 - 鞍手町立病院が地方独立行政法人に移行。名称を「くらて病院」に改称
- 2014年（平成26年）
 - 日本創成会議が「消滅可能性都市」を発表。鞍手町が福岡県ワースト1位となる

2015 …▶ 2024

- 2015年（平成27年）
 - 北九鞍手夢大橋が開通
 - 鞍手北中と鞍手南中を統廃合し、鞍手中学校を開校
- 2016年（平成28年）
 - 旧鞍手南中学校を「くらて学園」として再生
- 2018年（平成30年）
 - 泉水地区に坑廃水（赤水）処理施設が完成
 - 集中豪雨が町を襲い、町内65世帯が浸水被害を受ける
- 2020年（令和2年）
 - 古月保育所を大規模改修
- 2021年（令和3年）
 - くらて病院が新築・移転
- 2022年（令和4年）
 - 町で唯一の高校「福岡県立鞍手高等学校鞍手町立豊翔館」が閉校
- 2024年（令和6年）
 - 役場新庁舎が完成



①	②	③
④	⑤	⑥

① 国鉄室木線でS L（蒸気機関車）が最後の運行（昭和49年） ② 吹雪の中で開催された第30回鞍手町駅伝競走大会（昭和60年） ③ 鞍手郵便局前の交差点に町内初の信号機が設置（昭和43年） ④ 炭鉱閉山に向けた動きが活発化し始めていたころの中山地区。剣岳山頂から撮影（昭和30年代後半） ⑤ 「シェー」。当時の流行していたポーズを決める女の子（昭和40年代前半） ⑥ 梅雨の大雨で浸水した町道を運行する西鉄バス（昭和39年）



⑦	⑧	⑨
⑩	⑪	⑫

⑦ 鞍手町美術協会が設立60周年を記念してプロレスイベントを開催（平成30年） ⑧ ものまねショーで盛り上がる「産業まつり」（平成9年） ⑨ 鞍手町商工会青年部主催の地域活性化事業でイルミネーションと花火が鞍手の夜空を彩った（平成30年） ⑩ 六ヶ岳統一登山デーで大声コンテスト（平成4年） ⑪ くらて病院が念願の新築移転（令和3年） ⑫ 鞍手インターチェンジが供用開始。九州自動車道で34番目（平成23年）

表彰

鞍手町において各分野で顕著なご功績をあげられ、表彰を受賞される皆さまをご紹介します（順不同）。長年にわたり町の発展や地域社会の向上に尽力され、そのご功績が高く評価されたものです。ここに心から敬意を表し、お祝い申し上げます。

< 鞍手町表彰 受賞者 > 鞍手町表彰条例の規定による表彰

【善行表彰／個人】

- 町の公益のため相当の金品を寄附した者〔条例第3条第1項第2号〕

故 首藤 公重 様

【善行表彰／団体】

- 町の公益のため相当の金品を寄附した団体〔条例第4条（条例第3条第1項第2号を準用）〕

タカラスタンダード株式会社 様 株式会社エム・ケイ食品 様

- 一般町民の模範となるような善行を行った者〔条例第3条第1項第3号〕

故 栗田 徳 様（炭坑の歴史の語り部として尽力された功績）

【永年勤続表彰】

- 町執行機関及び議決機関の特別職職員で、同一の職に12年以上在職した者〔条例第5条第1項第1号〕

木月 英美代 様（鞍手町教育委員会前教育委員） 栗田 貴生 様（鞍手町農業委員会元委員）

小長光 隆 様（鞍手町農業委員会委員） 白石 信幸 様（鞍手町農業委員会委員）

- 町内の公共的団体等の長として12年以上在職した者〔条例第5条第1項第2号〕

新谷 留晴 様（八尋神田区前区長）	兼寛 幸則 様（七ヶ谷区前区長）
添田 賢則 様（幸町区前区長）	諸富 春彦 様（東区前区長）
柴田 正治 様（南区前区長）	高鍋 幸雄 様（大池区前区長）
小川 和男 様（上木月区元区長）	遠藤 靖彦 様（鞍手町子ども会連絡協議会会長）

< 町制施行記念表彰 受賞者 > 鞍手町表彰条例運用要綱の規定による表彰

- 地方自治の進展に貢献した者〔要綱第7条第2項第1号〕

堀角 泰正 様（鞍手町教育委員会前教育委員）	毛利 芳太郎 様（鞍手町社会教育委員）
由衛 久子 様（鞍手町社会教育委員）	山下 廣子 様（鞍手町社会教育委員）
田方 広真 様（鞍手町社会教育委員）	嶋立 輝行 様（鞍手町社会教育委員）

- 社会福祉又は民生の安定に尽力した者〔要綱第7条第2項第2号〕

西山 堅 様（社会活動に貢献）

- 教育、文化及び体育の振興に多年にわたりすぐれた功績があった者〔要綱第7条第2項第4号〕

故 古市 昌平 様（鞍手町子ども会連絡協議会前副会長）	花田 幸一 様（鞍手町スポーツ推進委員）
仲山 真澄 様（鞍手町スポーツ推進委員）	貝崎 淳子 様（町民の健康づくり活動に貢献）
筒井 英和 様（鞍手ジュニアバレーボールクラブ女子チーム元指導者）	
松永 憲昌 様（鞍手ジュニアバレーボールクラブ男子チーム元指導者）	
鞍手北中陸上部OBチーム 様（陸上競技を通じてスポーツの振興に貢献）	

- 安全安心なまちづくりの生活環境の向上に貢献した者〔要綱第7条第2項第5号〕

池浦 貴志 様（鞍手町消防団前団長）	石田 隆信 様（鞍手町消防団元団長）
仲野 守 様（鞍手町消防団元団長）	

地勢沿革

- 位置 東経 130 度 40 分
北緯 33 度 47 分
- 面積 35.60 平方キロメートル
- 人口 15,080 人(令和2年国勢調査)

福岡県北部、福岡市と北九州市のほぼ中間に位置する鞍手町は、1955 年（昭和 30 年）1 月 1 日に 1 町 2 村が合併して誕生しました。この地は縄文時代から豊かな歴史と文化を受け継ぎ、多くの遺跡や文化遺産がその足跡を伝えています。

農業を基盤として発展してきた鞍手町ですが、江戸時代中期には石炭産業が芽生え、昭和 30 年代後半まで地域の発展を支える原動力となりました。しかし、高度経済成長期のエネルギー政策の転換により、石炭産業は衰退。町は炭鉱の閉山と人口流出という厳しい現実と直面しました。それでも鞍手町は、人々の絆と歴史を未来へつなぎ続けることで、困難な時代を乗り越えてきました。

2025 年（令和 7 年）1 月 1 日、70 歳を迎えた鞍手町。長い歴史と受け継がれた文化を誇りに、地域の発展と共生を目指し、これからも次の世代へと続く豊かな町を築いていきます。



く
ら
て



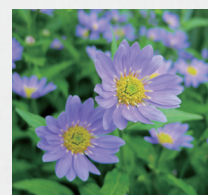
町章

1956 年 10 月、新庁舎の落成を記念して行われた合併祝賀会の際に、住民から一般公募しました。採用された町章は、ひらがなの「くらて」を図案化したものです。

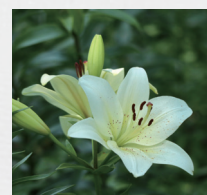


コミュニケーションマーク

鞍手町のイメージアップ戦略事業の一環として、町を効果的に P R し、知名度を向上させることを目的に 2013 年に作成しました。



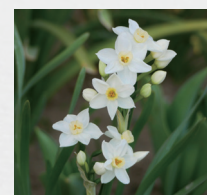
町の花(春)
ミヤコワスレ



町の花(夏)
ユリ



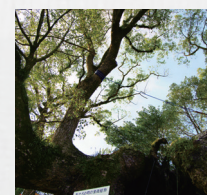
町の花(秋)
キク



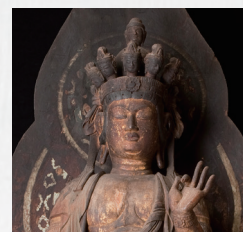
町の花(冬)
スイセン



町の花木
キンモクセイ

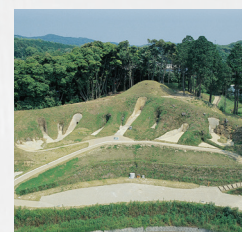


町の木
クスノキ



町の文化財 長谷観音

国指定重要文化財「木造十一面観音立像」は、11 世紀初頭に造られた仏像で、「長谷の観音さん」として親しまれています。クスの一木造で彫られ、光背にも一枚板のクスを用いるなど、用材と技法に特色があり、千年を超えて信仰を集めています。



町の史跡 古月横穴

国指定史跡のこの墓群は、大正 15 年（1926 年）に発見され、これまでに 41 基が確認されています。古墳時代後期、6 世紀後半から 7 世紀にかけて営まれたと考えられ、内部の壁面に装飾が施された横穴墓が 3 基残るなど、当時の葬送文化を伝える貴重な遺跡です。



町の偉人 伊藤常足

伊藤常足（1800 ～ 1879）は鞍手町出身の国学者です。『万葉集』や『古事記』を研究し、独自の解釈を示すとともに、九州各地に国学を広めました。多くの門弟を育て、和歌を通じて郷土の自然と人々の心を表現し、地域文化の発展に大きな足跡を残しました。



町の特産品 巨峰（ぶどう）

鞍手町の巨峰は、豊潤でまろやかな甘みとみずみずしさが自慢です。戦後まもなく栽培が始まり、半世紀以上にわたり生産者の研さんと努力に支えられてきました。今では町を代表する特産品として受け継がれ、多くの人々に親しまれています。

鞍手町長
岡崎邦博

鞍手町議会 議長の野信之

鞍手町副町長
折尾敬敏

鞍手町教育委員会教育長
外園哲也

手話通訳

司会

席次表

自由民主党最高顧問・衆議院議員
麻生太郎 様

福岡県知事 服部誠太郎様
代理 福岡県副知事
生嶋亮介 様

福岡県議会議長 藏内勇夫様
代理 福岡県議会副議長
中尾正幸 様

福岡県町村会会長
(水巻町長)
美浦喜明 様

参議院議員 松山政司様
代理 秘書
酒井雅生 様

参議院議員 大家敏志様
代理 秘書
柴田泰夫 様

鞍手町議会 議員 野口美恵子 様	鞍手町議会 議員 星 正彦 様	鞍手町議会 議員 田中二三輝 様	鞍手町議会 副議長 許斐英幸 様	被表彰者 小長光 隆 様	被表彰者 故 栗田 徳 様 (代理) 栗田光晴 様	被表彰者 株式会社 エム・ケイ食品 様	被表彰者 タカラスタANDARD 株式会社 様	福岡県議会 議員 花田尚彦 様	直方市長 大塚進弘 様	宮若市長 塩川秀敏 様	小竹町長 井上頼子 様		
鞍手町議会 議員 栗田美和 様	鞍手町議会 議員 有働徳仁 様	鞍手町議会 議員 許斐潤一郎 様	鞍手町議会 議員 石井大輔 様	被表彰者 添田賢則 様	被表彰者 新谷留晴 様	被表彰者 白石信幸 様	被表彰者 木月芙美代 様	国土交通省九州地方整備局 遠賀川河川事務所長 今井勝一様 代理 副所長 工藤雄一 様	直方市議会 議長 田代文也 様	宮若市議会 議長 川口 誠 様	小竹町議会 議長 吉野欽也 様		
鞍手町農業委員会 副会長 幸田 剛 様	鞍手町教育委員会 教育委員 廣瀬竜也 様	鞍手町教育委員会 教育委員 山田伸子 様	鞍手町議会 議員 西藤典子 様	被表彰者 毛利芳太郎 様	被表彰者 小川和男 様	被表彰者 諸富春彦 様	被表彰者 遠藤靖彦 様	国土交通省九州地方整備局 北九州国道事務所長 上田晴気 様	福岡県企画・地域振興部 市町村振興局長 黒岩一文 様	福岡県 直方県土整備事務所長 夕田欣洋 様	直方鞍手広域市町村圏 事務組合消防本部消防長 水野智徳 様		
地方独立行政法人 くらて病院 事務局長 柴田裕則 様	地方独立行政法人 くらて病院 病院長 安部治彦 様	地方独立行政法人 くらて病院 理事長 藤本直浩 様	鞍手町選挙管理委員会 委員長 白石寛枝 様	鞍手町 代表監査委員 川上瑞穂 様	被表彰者 嶋立輝行 様	被表彰者 山下廣子 様	被表彰者 由衛久子 様	被表彰者 堀角泰正 様	被表彰者 西山 堅 様	被表彰者 花田幸一 様	被表彰者 筒井英和 様	被表彰者 松永憲昌 様	直方警察署長 相部博昭 様
鞍手町立新延小学校 校長 大崎知英 様	鞍手町立西川小学校 校長 井ノ上正和 様	鞍手町立古月小学校 校長 松澤正明 様	鞍手町立剣北小学校 校長 吉留康一 様	鞍手町立剣南小学校 校長 鈴木孝広 様	鞍手町前副町長 浅野 彩 様	鞍手町元副町長 阿部 哲 様	被表彰者 池浦貴志 様	被表彰者 石田隆信 様	被表彰者 仲山真澄 様	被表彰者 貝崎淳子 様	被表彰者 鞍手北中陸上部 OBチーム 様	三菱マテリアル株式会社 執行役社長 田中徹也様 代理 筑豊駐在所長 山本比呂志 様	MGタクシー株式会社 代表取締役 堀 孝 様
鞍手町立室木小学校 校長 稲葉智子 様	鞍手町立鞍手中学校 校長 佐藤泰寛 様	鞍手町ボランティア 連絡協議会 会長 後藤幸雄 様	社会福祉法人鞍手町 社会福祉協議会 会長 新谷敏江 様	鞍手町消防団 団長 谷田潤一 様	鞍手町教育委員会 元教育長 水摩幸隆 様	部落解放同盟 鞍手地区協議会 委員長 篠原 茂 様	福岡ひびき信用金庫 鞍手町支店 支店長 波多野禎昭 様	西日本シティ銀行 鞍手支店 支店長 金田貴之 様	直鞍農業協同組合組合 代表理事組合長 堀 勝彦様 代理 専務理事 古野正隆 様	鞍手工業団地 協同組合 専務理事 縄手寿典 様	鞍手町商工会 会長 内田一美 様	鞍手郵便局 局長 半田重博 様	新延郵便局 局長 久原主武 様
立林区 区長 栗田泰徳 様	幸町区 区長 有吉 亨 様	上新橋区 区長 篠森正行 様	中本町区 区長 岡村郷史 様	本町区 区長 藤原常芳 様	鞍手町区長会 会長 (室木区 区長) 久保智則 様	鞍手町区長会 副会長 (新北区 区長) 岩河内孝寿 様	鞍手町区長会 副会長 (昭和通り区 区長) 鶴崎 信 様	鞍手町区長会 副会長 (古門区 区長) 的野道雄 様	長谷区 区長 藤井福吉 様	八尋区 区長 中岡博幸 様	鞍手町町制施行記念行事 企画委員会委員 崎山友博 様	新北郵便局 局長 小島 努 様	古月郵便局 局長 岩永賢一郎 様
山ヶ崎区 区長 仲野 實 様	唐ヶ崎区 区長 村上弘哲 様	東区 区長 宮原利和 様	城ヶ崎区 区長 彌富正敏 様	い牟田区 区長 大塚俊克 様	舟川区 区長 吉田博文 様	室井区 区長 山野勝年 様	永谷区 区長 白木弘行 様	七ヶ谷区 区長 西原正美 様	新延本村区 区長 花田貴志 様	新延南区 区長 堀 康男 様	八尋中央区 区長 小林隆雄 様	神崎区 区長 山下陽之輔 様	古門北区 区長 幸田数正 様
					猪倉区 区長 田原正行 様	今村区 区長 石松裕和 様	新中山区 区長 新次豊吉 様	上木月区 区長 栗田泰光 様					

8

本日の記念式典に際し、ご臨席を賜りました皆さまをご紹介します（順不同）。公私ともにご多忙の折、ご出席いただきましたことに、心より厚くお礼申し上げます。

9

第2部

記念
講演

- 日時 令和7年10月5日(日)
午前11時から
- 会場 鞍手町中央公民館 研修室1 (2階)

< 演題 >

いま起こっていること、
これから起こること

< 講師 >

須田慎一郎氏

(経済ジャーナリスト)

70年の節目に、
未来を見つめる“視座”を。

テレビや新聞では伝えきれない、
経済と社会の“裏側”に切り込む須田慎一郎氏。
第一線の現場を歩き続けるジャーナリストが、
「いま」を鋭く読み解き、「これから」を見通します。
変化の時代にこそ聞いておきたい、
“本質”に迫る講演です。

Profile

すだ・しんいちろう 1961年、東京生まれ。日本大学経済学部卒。
経済紙の記者を経て、フリー・ジャーナリストに。テレビ朝日「ビートたけしのTVタックル」、読売テレビ「そこまで言って委員会NP」、ニッポン放送「飯田浩司のOK!Cozy up!」、YouTubeチャンネル「別冊! ニューソク通信社」「真相深入り! 虎ノ門ニュース」他、多方面で活躍中。また、平成19年から24年まで、内閣府、多重債務者対策本部有識者会議委員を務める。政界、官界、財界での豊富な人脈を基に、数々のスクープを連発している。



鞍手町町制施行
70周年記念式典・講演会

- 主催 鞍手町
- 日時 令和7年10月5日(日) 午前10時から
- 会場 <記念式典> 鞍手町役場 多目的ホール
<記念講演会> 鞍手町中央公民館 研修室1

鞍手町町制施行記念行事企画委員会

- ・的野 信之[委員長]
- ・折尾 敬敏[委員]
- ・小長光 隆[委員]
- ・崎山 友博[委員]
- ・後藤 幸雄[委員]
- ・外園 哲也[副委員長]
- ・田原 正行[委員]
- ・新谷 敏江[委員]
- ・縄手 寿典[委員]

(敬称略・順不同)